

知床世界自然遺産地域科学委員会
ヒグマ保護管理方針検討会議の開催について（案）

1. 目的

ヒグマが高密度に生息する知床半島において、ヒグマ個体群を健全に保全するとともに、利用者、地域住民との軋轢を解消するため、基本的な保護管理方針を検討することを目的とする。

2. 構成

知床世界自然遺産地域科学委員会の戦略的な作業グループとして位置付け、科学委員会および各 WG 等に所属する以下の委員と関係行政機関により構成する。

エゾシカ・陸上生態系 WG

梶 光一 東京農工大学 教授

松田 裕之 横浜国立大学 教授

間野 勉 北海道立総合研究機構環境科学研究センター 研究主幹

（適正利用・エコツーリズム WG 委員 兼任）

適正利用・エコツーリズム WG

愛甲 哲也 北海道大学 准教授

敷田 麻実 北海道大学 教授

庄子 康 北海道大学 准教授

河川工作物 AP

小宮山英重 野生鮭研究所 所長

関係行政機関

林野庁北海道森林管理局

北海道

地元自治体

斜里町

羅臼町

事務局

環境省釧路自然環境事務所

* 検討会議には、検討テーマに応じ、適宜、特別委員を追加する場合がある。